

## 『The reason I Jump』

タイトルを日本語に戻すと、「僕が跳ぶ理由」。言うまでもなく、東田直樹さんの『自閉症の僕が跳びはねる理由』の英題である。この本は、重度の自閉症を持つ東田直樹さんが13歳の時に筆を執ったもので、日本にとどまらず、世界30か国以上で翻訳されており、2021年時点で117万部を超えている。

さて、タイトルの「理由」について、13歳の彼はこのように言う。

**僕が跳びはねている時、気持ちは空に向かっています。**

**空に吸いこまれてしまいたい思いが、僕の心を揺さぶるのです。**

(本文 66 頁より)

上の文は裏表紙にも記されているため、知っている人もいるかもしれない。この本は、自閉症の方々の多くが持つ、自分の気持ちを表現することが難しいことについて、大きなヒントを得ることが出来る。

彼らの気持ちを理解する一助になる一方で、自身も自閉症の子どもを持つ親であり、英語版の翻訳を行った、デイヴィッド・ミッチェルの一文を本書中の「解説にかえて」から引いておく。

**私たち定型の発達者は、自閉症者に潜在する知力と想像力を、  
つねに最小評価している** (訳 管啓次郎、189 頁)

本文にもあることだが、障害を持った子供に対して、つい年齢に釣り合わないことばを使ってしまう。分かりやすい言葉は必要だが、それによって彼らの気持ちをみじめにさせてはいけない。

もちろん、全ての自閉症を持つ方が同じではないし、東田さん自身も「全ての自閉症者の代表でない」と言っている。しかし、彼のことばを通して、彼らの心の内を知っておくことで、「こう思っているかもしれない」と、自閉症を持つ方の内面に寄り添うことができるのではないだろうか。

### 文献

東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」角川文庫 2016年

### 参考リンク

[本の紹介 | 東田直樹 オフィシャルサイト - Naoki Higashida Official Site \(naoki-higashida.jp\)](http://naoki-higashida.jp)

[「自閉症の僕が跳びはねる理由」東田直樹 \[角川文庫\] - KADOKAWA](#)

[僕が跳びはねる理由 | トップ \(kadokawa.co.jp\)](http://kadokawa.co.jp)

[4/2\(金\)公開 映画『僕が跳びはねる理由』予告編 - YouTube](#)